<table>
<tr><td colspan="6">学術情報のデジタルトランスフォーメーションを推進する学術情報の基盤形成に関する検討委員会</td></tr>
<tr><td>委員長</td><td>山口　周</td><td>副委員長</td><td></td><td>幹事</td><td>丹下 健、吉見俊哉</td></tr>
<tr><td rowspan="6">主な活動</td><td colspan="5">審議内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">第三部から発出された 24 期提言「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」にもとづいて，学術全体にわたる学術情報流通に関する課題の抽出と，提言で提起した組織再編成を含む学術情報流通の再構成のための具体的な提案に向けた審議を中長期的視点で行うことを目的とする。我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会と合同分科会「少子化時代のサステナブルな学術環境・エコシステムに関する分科会」では主に WG 形式により、印刷から電子出版が本格化する時代における学術情報の将来像とこれを支える学協会の活動について議論を進めた。また、新たな転換契約の状況調査（JUSTICE）や我が国の学術出版の状況等についても調査を行った。</td></tr>
<tr><td colspan="5">意思の表出（※見込み含む）</td></tr>
<tr><td colspan="5">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="5">開催シンポジウム等</td></tr>
<tr><td colspan="5">該当なし</td></tr>
<tr><td>開催状況</td><td colspan="5">25 期委員会第１回（R3 2/26），第２回（3/30），第３回（R5 2/14），第４回（9/21 開催予定）</td></tr>
<tr><td>今後の課題等</td><td colspan="5">事前査読がない電子出版やプレプリントサーバーなどが大きく伸長しており、我が国から発信される学術情報の多様性やそれに伴う業績評価のあり方が今後は問われる。また、電子ジャーナル講読の問題も様変わりしつつあり、学術情報環境の変化に対応するための情報共有と迅速な対応を行うための対応策が課題について、意思の表出に向けた検討を継続する必要がある。</td></tr>
</table>

■記載いただく内容は、外部評価有識者による外部評価を受けることも念頭に置き、活動の趣旨や審議内容、具体的にどのような成果があがったのか、提言等のフォローアップ等など、数値も用いつつ分かりやすく述べるよう努めてください。関連するウェブサイト等があれば記載してください。

また、前年度の活動実績に対する外部評価（参考資料参照）にて指摘された事項については、その後の進捗がある場合はできる限り記載してください。

■開催状況の記載について
（例）令和４年 11 月８日、令和５年５月 13 日※メール、など
※正式なメール会議は記載ください（メールでの意見交換等は記載不要）。

■分量
・委員会・若手アカデミー・連絡会議…約１/２ページ
・分科会…約１/３ページ